

2023年度メリー★ポピンズ 東神奈川ルーム事業報告書

(保育所における自己評価)

1. 2023年度の概要 ～年度の基本方針を受けて～

法人理念である「にんげん力」、保育方針「人対人コミュニケーション」をベースに、子どもたち一人ひとりの個性を受け止め、認め、尊重する事、必要な遊びや体験活動を通して、自分で考え、行動することのできる子を育てていくことを進めてきた。

- ・子ども同士の関わり、助け合い、つながりを大切に、大人も子どももお互いに認め合い常に学び合いながら子どもを中心とした保育環境を目指してきた。

- ・気持ちの良い挨拶を保育者から心掛け、保護者や地域の方々と関わり、協力した関係づくりを通して、地域に愛される園を目指し、日々努めてきた。

- ・暑さ寒さに強く健康的な身体。どんなことにも挑戦・やってみようとする気持ちや、最後まで諦めない忍耐強い心を育てていくことを中心に進めた。

〈1〉保育内容の充実・質の向上

1	計画・ねらい	子ども主体の保育
	実践結果	保育が子ども主体となっているか、昼礼や園会議等を活用し、日々確認しあい、常に子どもを真ん中にした保育ができるよう努めてきた。
	次年度方向性	今年度作ってきたベースを大事に、「子ども主体の保育とは？」を常に問い続けていく。
2	計画・ねらい	原点回帰
	実践結果	法人の日課(畑仕事、座禅、雑巾がけ、生き物の世話、散歩)を大事に、丁寧に取り組み、大人が背中を見せながら一緒に行うように努めてきた。日課の定着はできてきた。しかしながら食材や食の循環・環境への興味関心、意識を育む部分は、あまり取り組むことができなかった。
	次年度方向性	定着した日課の継続、また日課の意味をスタッフ一人ひとりが意味を理解していくよう進めていきたい。また、食への興味は育めたので、コンポストの実践や体への影響等も三食ボードなど活用し、子どもたちと一緒に進めていきたい。
3	計画・ねらい	「できない」を「できる」へ
	実践結果	「できる」「できない」ではなく、どう進めたらできるのか。どうしたらみんなで楽しめる活動になるのかを考えられる集団になるために進めていたが、考え方や意識の持ち方をもう少しお互い深ぼりながら進めていきたい。
	次年度方向性	大人も子どもも自分たちで考えられる集団として、日々話し合うことを大切に、どうやったら出来るのかを考え、保育に取り入れていく。

〈2〉 保育所を利用する子どもの保護者への支援

1	計画・ねらい	園での子どもの姿や、成長の様子を共有していく。
	実践結果	タイムラインや写真を通して、日々の子どもの成長の様子をわかりやすく知らせ、共有・発信していくよう努めたが、発信が遅れたり、行えなかったりするクラスがあった。
	次年度方向性	タイムライン更新などは、毎日のことなので各クラスが発信漏れのないようにししていくと共に、子どもの様子も丁寧に伝えられるよう、日々子どもの様子の共有をしていく。
2	計画・ねらい	おもてなしの精神を心掛け、安心して預けてもらえる園を目指す。
	実践結果	気持ちの良い挨拶と受け応えや、相手に寄り添ったコミュニケーションを丁寧に行っていくように努めたが、挨拶は相手に聞こえていないと意味がないことも改めて知る機会となった。そのおかげで、相手へ伝える大切さも実感できた。美観にも少しずつ力を入れてきた。
	次年度方向性	引き続きコミュニケーションを大切に、また丁寧にやっていく。挨拶は相手に伝わるよう心を込めて行い、子どもの手本となれるようにすると共に、美観は引き続き進めていき、全員が自分事として進めていけるようにする。
3	計画・ねらい	気軽に子育て相談がしやすい関係づくりに努め、保護者との相互理解を深めていく。
	実践結果	保育に関連した様々な機会を活用し、日々の子どもの様子を収集・伝達し、園での様子や内容を細かくお伝えしたり、必要に応じて個別面談のご提案をしたりできた。
	次年度方向性	次年度も継続して子どもの様子を丁寧に自分の言葉で伝えられるよう、子どもの情報収集にアンテナを張り、伝えていく。個別面談も必要に応じてご提案は続けていく。
4	計画・ねらい	風通しの良い職場環境の構築
	実践結果	立場や年齢、経験に関係なく、相談し合い、子どもの話を語りあう場所と時間の確保から始めた。徐々に子どもの話や意見交換が増えていったと感じる。
	次年度方向性	アットホームな温かいスタッフ間・職場を引き続き作っていく。

〈3〉 地域の子育て支援事業

1	計画・ねらい	地域に根好き、地域に開放的な園を目指す。
	実践結果	青空保育や公園で一緒になった地域の方々に、保育園を身近に感じ、気軽に訪れることのできるよう、声を掛けることやチラシの配布なども行った。
	次年度方向性	青空保育の定着や、園の情報発信をもっと積極的に行い、園のことを知ってもらい、来園してもらえるよう努めていく。
2	計画・ねらい	近隣施設との交流を深める。
	実践結果	商店街ツアーは少しずつ定着・継続していている。近隣の保育園との交流は少なかったが、シニア交流などでは施設の方とは交流が深められた。

	次年度方向性	定着してきたものは、継続をしっかりと行っていく。近隣保育園や小学校との交流を次年度は増やし、地域とのつながりを広げていきたい。
3	計画・ねらい	見学時や電話問い合わせ時の丁寧な対応
	実践結果	園見学は施設長中心になってしまったが、園見学の方が来る前の準備や案内、電話対応等はスタッフも含め全員で行い、丁寧に進められたと思う。
	次年度方向性	次年度も引き続き、来園者や電話対応が出来るよう、スタッフ間と意識合わせをしながら進めていく。

〈4〉次世代を担うスタッフ育成

1	計画・ねらい	園内研修、外部研修、スキル講座への参加
	実践結果	キャリアアップ以外の研修に参加する機会がなかった為、園会議などでの研修報告は行えなかった。虐待や子どもの人権についての園内研修は行った。
	次年度方向性	虐待や子どもの人権についての園内研修は引き続き行っていく。外部研修等も積極的に参加できるよう、スタッフへ知らせ意欲が持てるようにしていく。
2	計画・ねらい	「報連相」の徹底したチーム保育
	実践結果	「報告・連絡・相談」を行い、一人ひとりが考え、スタッフ同士で話し合う機会を持つようにした。
	次年度方向性	報連相の強化。自分の意思や気持ちを相手に伝えることを意識する。また個々の能力を活かした保育ができるよう、保育者自身の弱点を補い合い保育を展開できるように努めていく。

〈5〉環境実施目標

1	計画・ねらい	自然に触れ、関りが持てる環境の設定
	実践結果	日課の畑仕事を通し、栽培などを通した成長の観察など、直接体験できるようにしていった。
	次年度方向性	今年度の活動をベースに、更に子どもたちにとって本当に必要な活動を考え取り入れていく。また、畑仕事では、全クラスが毎日関わっていけるシステムづくりに努める。
2	計画・ねらい	感染症拡大・怪我や事故を未然に防ぐ
	実践結果	室内、玩具消毒、換気、感染症対策を行い、流行ってしまった時には、更に換気・玩具や室内の消毒を丁寧に行うようにした。 ヒヤリハットや事故記録簿の振り返り、傾向と対策・要因を園会議などで議題とし、話し合った。
	次年度方向性	室内・玩具消毒・乾季は引き続き行い、子どもたちも大人も快適に、健康に過ごせるように努めていく。また、ヒヤリハットや事故記録簿の振り返りは、引き続き行い、園内やスタッフ間での危機管理意識を高めていく。
3	計画・ねらい	大きな一つの家、全スタッフでの保育
	実践結果	保育者全員で見守り、協力し合いながら、保育を進めた。しかし自分事としての意識が薄くなってしまっていた部分もあり、保育中の役割分担を作

		った。異年齢児保育・インクルーシブ保育の実践。
	次年度方向性	今年度から始めた人数確認リーダーなどの役割は意識をもって進め、お互いに注意し合いながら子どもを全員で保育していくという事の実現。 子どもも大人も園生活を楽しみ、子どもと一緒に様々な直接体験を通して、自分で考えて行動できる人間になっていく。

2. 施設運営

〈1〉 児童利用状況

月極利用児童受託状況（延べ人数）

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
年度前半： 4~9月		42人	36人	36人	42人	36人	192人
年度後半： 10~3月		42人	36人	34人	42人	36人	190人

延長保育利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用総 人数	4人	4人	4人	4人	4人	4人	3人	3人	3人	3人	3人	3人	42人

一時保育利用状況

（解説）今年度の一時保育事業は休止

〈2〉 開所時間

7時00分～20時00分

〈3〉 スタッフ構成 （3月1日時点）

常勤スタッフ	保育士	7人	栄養士	1人
パートスタッフ	保育士	3人		

3. 運営報告

〈1〉施設内会議

会議名	実施回数	会議内容
園会議	月1回 ※2,3月は策 定会議にて 実施	・コンピテンシー ・保育の質向上に関わる勉強会 ・行事について検討他
給食運営会議	月1回	アレルギー確認、クラスの給食状況、食育会議報告
事故防止委員会	月1回	危機管理、安全対策、前月の検証
ケース会議	月1回	保育計画の振り返り、立案、共有、他機関との連携報告
昼礼	週1回	事務連絡、子どもの様子共有、事故・怪我共有

〈2〉出席した施設外会議（Web 参加含む）

会議名	実施回数	参加スタッフ
施設長会議 ／法人本部	月1回	施設長
施設長勉強会 ／法人本部	月1回	施設長
食育会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長 調理スタッフ
保健会議 ／法人本部	年4回 (5.7.11.2月/5.8.11.2月)	施設長
主任会議 ／法人本部	年5回	主任・ミドルリーダー
子育ての質を上げる会議	月1回	保育士

〈3〉系の設置状況

系名	活動の様子・省察
衛生管理係	日々の園内清掃と、子ども及び保育者の健康保持のために、施設内

	外の保健的環境の維持向上、衛生管理。 定期的に乳・幼児室の倉庫内の掃除をし、必要なものしかない環境作りに努めた。
安全対策係	施設内外の設備及び用具の安全管理・点検、事故記録の作成、避難訓練計画立案・実施し、保育者は何が事故や怪我につながるのかを再認識した。
防火管理者	消防計画を作成し、これに基づく消火・通報及び避難訓練を行うためスタッフの作成した計画内容、実施内容の確認と訓練の反省を行った。
食品衛生管理係	課内食育会議への参加、園内給食運営会議の計画と実施をする。衛生的な環境で、アレルギー除去食提供児にも配慮された安全な給食の提供。
畑係	年間を通した畑・食育計画立案・実施、畑の管理
生き物係	飼育しているメダカは、年長児を中心に子どもたちとえさやりや水替えを行った。

〈4〉行事係の設置状況

係名	活動の様子・省察
どろんこ祭り係	どろんこ祭りの計画を立て、立案・とりまとめを行い実施した
運動会係	運動会の計画を立て、小学校とのやり取りやスタッフの係り決め、立案・とりまとめを行い実施した
生活発表会係	生活発表会の計画を立て、各クラスの出し物のとりまとめやスタッフの係り決め等を行い実施した
誕生会係	スタッフが順番に担当月を決め、その月誕生児の紹介や得意な出し物を準備して披露した

4. 保育支援

〈1〉保育・保育参加・保護者面談および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"> ・園生活での姿が知りたい・友達との関わりについて知りたい ・活動への参加の仕方を見たい・家庭での様子について・就学に向けて
----	--

保育参加	4～3月まで 合計1名 が参加済み (3月1日時点) ・散歩の同行、室内遊び、活動見守りなどの実施
保護者面談および発達相談	4～3月まで 合計1名 が参加済み (3月1日時点) ・園生活での子どもの姿、保育の中での安全配慮について、発達相談、就学に向けた話し合いの場を持つ。
運営委員会	運営委員会を6月16日と11月17日に園にて実施し、参加した保護者2名 詳細は議事録に記載

〈2〉 計画した年間行事の振り返り

- ・別紙「2023年度年間スケジュール」に掲載
- ・保育参加・保護者面談は随時開催

〈3〉 給食・食育に関する実践結果

1	計画・ねらい	子どもの食欲と意欲を育てる
	実践結果	子どもたちが自分たちで盛り付けるバイキング形式を基本とし、自分で食べられる量や時間を知れるよう、見本の量の掲示や時計を見やすいように整備した。
	次年度方向性	食事から栄養素などを踏まえ、体への影響を子どもたちと一緒に考え、学んでいく。
2	計画・ねらい	食育活動
	実践結果	土づくりから始め、畑で野菜を栽培することで、成長の変化や旬の食材に気付き、食に興味を持てるようにした。また、クッキングでは、自分たちが育てた野菜を使い、素材が様々な食物に変化する姿を見ることで、食に興味を進めていった。
	次年度方向性	畑の充実、しっかり育てられるように大人も学びを深めていく。育てることの大変さを感じながら、収穫・食す際の喜びが大きくなるよう進めていく。
3	計画・ねらい	日本の伝統行事や文化や旬な食材を知り、食材や文化に興味を持つ
	実践結果	旬の食材の話や給食の野菜の下ごしらえを乳児から参加できるようにした。紙芝居や本物を見せながら、食に関する興味・関心を育てていけるようにする。
	次年度方向性	日本の伝統文化を大事に、大人も子どもも学びながら、楽しくしていきけるよう、保育の中に組み込み進めていく。

〈4〉保健に関する実施結果

実施項目	詳細
園児健康診断	年2回(6月・11月)
歯科検診	年2回(6月・11月)
保健だより	毎月25日におたより配信を実施
スタッフ健康診断	年1回実施
スタッフ検便	毎月1回(全スタッフ対象)
その他実施した園児への保健指導、又は、取組等	手洗いうがい、歯磨き指導、体の仕組みを知る
流行した感染症	12～2月頃・・・感染性胃腸炎、インフルエンザなど
発作・痙攣等の対応	ダイアップ・・・預かりなし エピペン・・・預かりなし アレルギー児の緊急依頼薬・・・2名預かりあり／事務所にて保管
エピペン使用できるスタッフの状況	本日現在10名が、研修受講し、修得済み 未受講のスタッフ1名、新規スタッフ1名については4月30日までに受講予定
その他保健に関する取組	嘔吐処理物品の管理、嘔吐処理方法のスタッフ指導、救急用品の管理、新型コロナウイルスおよび他ウイルス感染予防のため、うがい指導・手洗い指導、消毒・換気の徹底

〈5〉各種点検

危機管理	設備点検・事故防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	防災自主点検 (備蓄品点検含む)	6・12月の25日に実施済み
	避難消火訓練	毎月1回／15日に計12回実施済み
	不審者侵入訓練	6・12月の25日に実施済み
	情報セキュリティチェック	5月・11月に実施済み
	誤飲・誤嚥防止チェック	4・7・10・1月の25日に計4回実施済み
	フロン点検(定期1回/3年)	業者による対象物の定期点検 2023年実施済み

衛生管理	衛生管理点検表／毎日	毎日実施⇒実施していない日 なし
	衛生管理点検表／毎週	毎週金曜日実施⇒実施していない日 なし
	衛生管理点検表／毎月	毎月25日に計12回実施済み
	個人衛生点検簿／毎日	毎日実施⇒実施していない日 なし
健康管理	予防接種状況・既往歴の確認 ／保険証期限確認	年2回／6・12月 ⇒6月30日、12月14日に実施済み
	身長体重測定	毎月1回／20日 実施済み
	児童健康診断	内科健診 各年2回／6月30日、12月14日 歯科健診 各年2回／6月6日、12月6日
運営管理	児童・保護者の人権に関する チェック	年2回／4・10月の園会議時 ⇒4月21日、10月20日に実施済み
	コンピテンシー自己採点	毎月1回／園会議冒頭5分間 実施済み
	利用者アンケート調査	8月25日～9月5日に実施済み

〈6〉実施した環境整備の状況

1	計画・ねらい	保育者との安定した関係の下、様々なことに子ども自らがチャレンジできるようにする
	実践結果	特定の保育者との安定した関係が作れるよう、スキンシップを多く持つようにし、大人も一緒に行う事で、子ども自身がチャレンジできる環境や雰囲気づくりを行った。
	次年度方向性	引き続き、子どもの情緒や気持ちの面での安定・安心を大事にしながら、大人も一緒に進めることで、子どもがチャレンジしてみようとする気持ちになるような環境や雰囲気づくりに努めていく。
2	計画・ねらい	整理整頓を常に心がけ、必要な物だけを置く気持ちの良い環境の下、子どもが活動しやすい動線作り
	実践結果	玄関や棚上から、美観を意識して整頓をした。棚上は常に綺麗に整えられるよう、スタッフ間でもルールを決めるなどして進めている。室内環境づくりも、子どもの発育に合わせて定期的に環境を変え、また子どもの使いやすさや片づけやすさ等も考え、配置を行うように進めている。
	次年度方向性	美観を意識し、スタッフ全員で室内環境を整えていけるようにしていく。また、必要であればルールの改定等も進めていく。室内環境もその時の子どもの発達等を考え、進めていく。
3	計画・ねらい	身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ
	実践結果	身近な環境の中で出来る限りの自然に触れる機会を持つようにした。鶴見どろんこ保育園への移動保育では、自園では体験できない、ヤギとの関わ

		りが持てた。子どもたちも積極的にかかわる姿があった。また、幼児は特に虫に興味を持ち、生き物について考えたり、雪など季節感を感じたりすることができたと思う。
	次年度方向性	駅前の保育園ではあるが、今ある自然の中で出来るだけ多くの自然に触れて遊んだり、楽しめる活動を展開したりと、子どもたちに必要な遊びや活動・体験の機会が持てるようにする。

〈7〉手作り遊具・家具安全点検結果

手作り遊具・家具一覧

No	遊具・家具名	設置場所	点検実施時期	点検結果
1	L字パーテーション	保育室	毎日	異常なし 2023/11/9に解体・撤去

5. 危機管理（防災・ケガ事故防止・防犯・光化学スモッグ）

1	実践結果	消防計画に基づき、自衛消防隊の編成をして年間避難訓練に沿って消火訓練・避難訓練を行った。年2回通報訓練と保護者と連携した児童引き取り訓練を行い、非常時はアプリを利用して保護者へ情報発信を行う通知訓練も合わせて行った。
2	実践結果	年に2回、外部から不審者が侵入してきたという設定で訓練を実施した。保育者は侵入者を刺激しない様に他のスタッフに知らせるように行った。
3	実践結果	園内に事故防止委員会を設置し、ヒヤリハットやインシデントを活用、再発防止と共に危機管理・危険予測し、事故を未然に防ぐよう努めた。又、年度初めにリスクマップを活用し園内外のハザードの見直しを定期的に行い、ハザードマップの作成・共有をする。作成したものは定期的に見直しをし、子どもの姿や活動に沿った物であるよう努めた。
4	実践結果	園内外の危険個所をハザードマップにまとめ、スタッフ間の認識を同じにして危険回避につなげた。チェックは変更があった時以外に定期的に行っている。
5	実践結果	「新年度キックオフミーティング」でエビペン講習を行い、その後新しいスタッフにも研修をした。
6	実践結果	年4回の事故防止チェック、2ヶ月毎の設備点検チェックを行い安全配慮に努めた。

6. 実習生・中高生の受入

〈1〉今年度の振り返り

保育、福祉の現場で次世代を担う人材の育成として積極的に実習生の受け入れを行った。子どもと関わり触れ合う中で様々な経験を通し、子ども理解を深めていかれるようにした。又、実習生に関わる

保育者は初心に返り、自身の保育や記録の書き方の見直しをし、保育のプロとして子どもとの向き合い方や対応について考える機会とした。

〈2〉実習生の受入

日程	学校名	人数	実習内容
10月16日～10月27日	横浜こども専門学校	1人	責任実習
9月20～9月26日	横浜こども専門学校	7人	絵本の読み聞かせ
1月31日	横浜リゾート&スポーツ専門学校	1人	見学実習

〈3〉中高生の受入

実施なし

7. スタッフ研修

〈1〉園内研修の開催

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
コンピテンシー自己採点	21日 12名	19日 12名	9日 11名	14日 11名	18日 10名	15日 10名	20日 10名	10日 10名	15日 11名	19日 11名	16日 11名	21日 11名
人権研修	21日 12名						20日 10名					

〈2〉外部研修への出席

該当なし

〈3〉法人支援制度の活用・出席

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業務改善研修 (子育ての質を上げる会議)	18日 1名	16日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	24日 1名	21日 1名	19日 1名	22日 1名	20日 1名	18日 1名
施設長勉強会	18日 1名	16日 1名	20日 1名	18日 1名	22日 1名	19日 1名	24日 1名	21日 1名	19日 1名	22日 1名	20日 1名	18日 1名

全社員研修	10月に動画視聴にて研修を実施（全スタッフ対象）
リーダー養成研修	該当者なし

〈4〉スタッフ個人別育成計画

施設長が年1回実施するフィードバック面談時に「個人ごとの次期の目標設定と併せて、次期の育成計画を施設長が所定様式を使用して個々に伝えた。半期に一度、中間面談の実施を行い、進捗確認をした。

8. 地域交流

〈1〉今年度方針・テーマの振り返り

地域に愛され選ばれる園として、近隣の方々への挨拶やふれあいを意識していく。また、近隣の小学校や保育園との連携・交流などか関わる機会を多く持つように努めていく。

〈2〉実施した地域交流

活動行事	内容
青空保育（保育園主催）	月1回 公園名：反町公園にて
商店街ツアー	週1回 主な行き先：六角橋商店街、神奈川消防署、神奈川図書館、近隣の寺院、郵便局等
世代間交流	月1回 ひまわり介護を訪問し、利用者の方とのふれあい
異年齢交流	幸ヶ谷小学校訪問、保育士養成校の学生との交流
その他活動	園庭開放...見学時に園庭を見学されていた
銭湯でお風呂の日	月1回 〈3～5歳児〉 実施

9. 小学校との子ども間交流・スタッフ間交流

〈1〉今年度の振り返り

連携先の幸ヶ谷小学校との子ども間交流は、学校見学を通して、授業体験などもできて、子どもたちには良い経験となった。スタッフ間交流はオンラインでの開催。対面ではないものの、小学校の先生の話や他園の様子、話を聞く機会ができた。

今後は、公園などで一緒に遊んだり、手紙の交換会をしたり、更に交流が深められるとよいと思う。

小学生との関わりは、就学を控えた子どもたちには良い刺激となり、小学校での生活に期待が膨らむ貴重な機会となるため今後も続けていきたい。

運動会の会場として体育館を貸して頂いた神奈川小学校とも、運動会以外でも関りが持てるとよい。

日程	学校名・クラス名	参加人数	活動名（会場）	内容
7月2日	幼保小連携	2名	オンライン	スタッフ間交流
10月28日	神奈川小学校	120名	保育園運動会(体育館)	メリー★ポピンズ 東神奈川ルーム運動会
11月15日	幸ヶ谷小学校 1年生クラス・校庭	18名	活動見学・体験（幸ヶ谷 小教室・校庭）	子ども間交流

10. 要支援児

〈1〉個別支援計画の作成・見直しの状況

子どもの状況や発達を理解し、ケース会議の中で共有・振り返りを行い、週案・月案の作成時及び個々の変化や成長に合わせ都度見直しを行う。

〈2〉毎月のケース会議開催の状況

- ・4～3月に計12回開催 参加者：4名
- ・園会議、昼礼、クラス会議などを利用し、個々の様子を共有しながら理解を深めるようにした。
- ・配慮の必要な子だけでなく、気になる子や成長・発達の過程で配慮を必要とする子についても共有し、一人ひとりに合わせた対応へと繋げるようにした。

〈3〉進級引継、および小学校への引継状況

- ・進学する小学校、必要に応じ関連機関と連携しながら、児童要録・電話での詳細伝達を行った。進学に向けより丁寧な引き継ぎを進められるように、今年度担任が小学校とのやりとりをしてスタッフと共有した。
- ・進級児はスタッフ間で情報の共有をした。

11. 子育て支援事業

今年度の子育て支援事業・イベント・子育て相談・青空保育を含む延べ来園者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0名	3名	4名	27名	6名	7名	23名	0名	0名	17名	4名	0名	91名

実施項目	詳細													
園開放	(月)～(金) 9:30～16:30 にて実施													
子育て相談	(月)～(金) 13:00～16:30													
自然食堂 親子ランチ 交流	毎週(水) 10:00～12:00 実施なし 参加者延べ人数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
どろんこ 芸術学校 どろんこ 自然学校	毎週(水) 10:00～12:00 実施なし 参加者延べ人数													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	
勝手籠設置	(月)～(金) 7:00～20:00 にて実施 門扉前に無人のフリーマーケットかごを設置													
ちきんえっ ぐだより	毎月1日発行													
青空保育 (支援セン ター主催)	月1回 公園名：反町公園にて 以下日程にて実施													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0人	0名	

12. 園運営の向上

〈1〉福祉サービス第三者評価の受審

今年度受審なし

〈2〉園による自己評価の実施

2023年11月13日に「内部監査チェック表」を用いて、以下の通り、自己評価を実施済み。

自己評価開始時刻：13時30分

自己評価終了時刻：14時30分

自己評価実施者：施設長・主任

〈3〉利用者アンケートの実施

施設利用 保護者に対し、アンケートを実施

アンケート配布日：8月25日

アンケート回収率：100%

(省察)

様々な経験ができることはとてもよく、子どもの成長を感じる場面が多いと、喜びの回答や園の活動に対して賛同して頂いている意見が多かったが、洋服の入れ違いや朝着ていた服が返却されない。スタッフの休職や急な退職での入れ替えへの不安の部分もあった。物の管理の部分では、確認者を増やすなどして対策をし、スタッフの入れ替えの部分では、風通しのよい職場環境に努め進めてきた。褒めて頂いた部分はそのまま受け取りつつも、ご指摘くださった部分は真摯に受け止め、次年度に活かしていきたい。

13. 苦情解決・ケガのうち報告すべき事項

ご意見ご提案デスク（HP・メール・電話）、口頭・書面・連絡帳・ご意見ご提案ボックスによって寄せられた全ての意見・要望・苦情について、原則、「苦情対応体制」に従い、法人として解決を図る。以下、報告すべきご意見・ケガに関しては次の通りとなる。

〈1〉 報告すべきご意見

報告すべきご意見 0件

〈2〉 報告すべきケガ（事故含む）

報告すべきケガ（事故含む） 0件

※なお、報告書内の3月度の数値結果に関しては、すべて見込みの数値となっている。

以上

作成日：2024年3月15日 作成者：メリー★ポピンズ東神奈川ルーム 施設長 鈴木恵理